

レトロの世界へようこそ

「昔のモノは人間味にあふれていたー
そんな頃を覚えていますか？あなたをそんな少し前の時代へ
いざないます。」

暮らしの移り変わり

元号が平成に変わりまもなく30年経ちますが、回りを見渡すと、私たちの生活には大きな変化を感じます。

その中で、大きく人々に影響を与えたものは、スマートフォンではないでしょうか。発売当初は、本体価格や通信料が高額でしたが、技術革新やサービスの見直しにより、利用しやすくなり、あつという間に人々の生活に浸透しました。近年、カメラやテレビなどの主流はアナログからデジタルへと移



り変わってきていました。そこにスマートフォンが登場し、テレビ・カメラ・音楽・読書も一つの端末で賄えるようになり、時代は一気に便利なスマートフォンの時代となりました。

レトロブーム

現在はデジタル時代の真つ只中ではありますが、6月30日付けの中日新聞に「レコードの生産、30年ぶり再開へ」という見出しの記事が掲載されました。需要の高まりを受けて、生産を終了していたレコ

ードの製造に、ふたたび着手した会社があるとのこと。5年前に比べると、レコードの生産量は約4倍に増加しているそうです。その要因は、便利な現代の時代背景にあります。デジタル時代の今だからこそ、時代に逆行するようなアナログの音源があたたかと思うわれ、再評価されているようです。

博物館 ☎ 68♦1881

お宝入手

博物館には古文書や絵画、彫刻など、さまざまな収蔵資料があり、それらの多くは市民の皆さんから寄贈されたものです。最近では、昭和の頃に使われていた生活用品の寄贈を受けることも多く、これらも過去を知るための大切な資料です。

先日、たくさんさんのレコードの寄贈を受けました。寄贈者の方によると、「今ではもう聴かなくなり自宅の倉庫に長年眠っていた。思い出の品のため捨てることができないた

特別イベント レコードの時間

「昭和のオモチャ」の企画から引き続き、昭和の芸術の秋を満喫しましょう。寄贈を受けたものを中心に、1970～80年代の流行曲をレコードで楽しめます。レコードから奏でられるあたたかな音を聴いてみませんか。

と き 11月19日(日)
午後2時～1時間程度
ところ 博物館1階ロビー
その他 無料、申し込み不要。



レコード大募集

家で眠っているレコードがあれば、博物館が収集し、今後の企画で活用します。寄贈希望の方は、博物館へ気軽にご連絡ください。

め、博物館で活用してほしいとのことでした。レコードから流れる音は、今のCDやネット配信から流れる音とは違います。そのため、時代が進むに連れて、アナログな音はそのものが貴重な資料となります。